

きょけつ 虚血性心臓病とは…

<1>どんな病気？

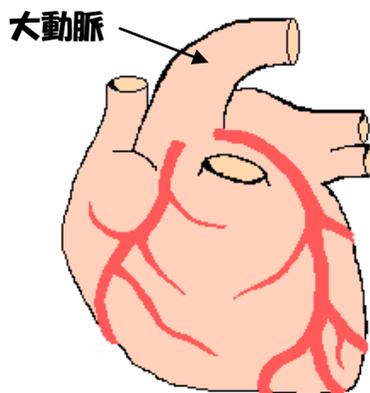
* 心臓は、全身へ新鮮な血液を送るポンプですが、その仕事を続けるためには、自分も血液を送ってもらわなければならないかもしれません。(右図)

そのために、大動脈の根元から、2本の血管(冠動脈かんといひます)が出て、心臓全体に枝分かれして、心筋に酸素・栄養を供給します。

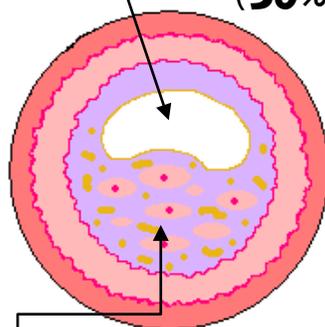
* 冠動脈の一部が、動脈硬化の進行により、内壁に粥腫(アテローム・フラーク)じょくしゅという油かすのようなものがへばりつくと、内腔が狭くなり、血流が不十分になります。(右図)

* その粥腫がくずれると、そこを修復するために、血栓が出来たり、血管のケイレン(冠スパスム)かんにより一時的に血流が低下して、その支配流域にある心筋が、酸素不足によって、悲鳴を上げます。

* 狭心症とは、血流の低下が一時的なもので、元にもどる場合です。心筋梗塞とは、血栓による血流のしゃ断が長時間続く事によって、心筋が重大なダメージを受ける状態です。



動脈硬化による内腔狭窄きょうさく
(50%)



粥腫(アテローム・フラーク)

<2>症状

* 前胸部痛、前胸部のモヤモヤした不快感や、圧迫感(左胸ではない)みぞおちの痛み、左肩～左ヒジのだるさ、奥歯がウツク、息苦しい

* 狭心症発作の場合、安静にしたり、ニトロペンを舌のうらに入れば、2～3分で、おさまりますが、心筋梗塞の場合は、どんどん事態は、悪化します。

*わが国では、心臓に過大な負担をかけた時に
おこる労作性狭心症よりも、右の表に上げる
誘因による不安定狭心症が多く、特に、明け方の
睡眠中や、早朝の軽い動作(洗顔、排尿、排便)
などに、発作を起こします。又、早朝の雪かき
などは避けるべきです。

冠スパズムの誘因

- ①心身のストレス
- ②過呼吸
- ③寒さ
- ④怒り
- ⑤タバコ
- ⑥アルコール

<3>診断検査法

①24時間(ホルター)心電図検査

気が付かないときに起きてる無症候性心筋虚血や不安定狭心症の
発見に有効です

②負荷(トレッドミル)心電図検査

心臓にわざと負担を加えて、狭心症発作を誘発させます

③MRアンジオグラフィ

MRIを利用した冠動脈の血管造影法です

④心筋シンチグラム

血流分布のムラを利用して、虚血しやすい部位を調べます

⑤心臓エコー

心臓の収縮運動を観察して、動きの滑らかでない部位を調べます

⑥心臓カテーテル検査

冠動脈にカテーテルを誘導して血管造影をしたり、冠スパズムを
起こさせる薬剤を注入して、ケイレンを起こしやすい部位を見つけます

当院では、①の検査で陽性所見が出た場合、専門医療機関へ紹介
しています。

<4>こんな人は、ご用心！！

- *高血圧症
- *高脂血症
- *高尿酸血症(痛風)
- *糖尿病
- *肥満
- *両親に心臓病がある
- *タバコ
- *バイアグラ愛用者